

◆大澤浄

論文 「木下忠司氏インタビュー 合奏を初めに聴いたのは映画館。僕はそれから音楽家になりたいと思った。」[聞き手・構成]／NFCニューズレター第126号

論文 「山村倫氏（『ヴィクトリア』プロダクション・デザイナー）インタビュー「リンがこの映画に来たのは偶然じゃない」と言われました。」[聞き手・構成]／NFCニューズレター第127号

論文 「羽田澄子+佐藤斗久枝（彼方舎）対談 「感じた人は行う責任がある」」[聞き手・構成]／NFCニューズレター第128号

論文 「「生誕100年 映画監督 加藤泰」に寄せて」／『東映キネマ旬報』vol.27、平成28年8月1日

論文 インタビュー「商業性の中で芸術を追求する——『戦後ドイツの映画ポスター』展」／ウェブサイト「SYNODOS」、平成29年1月12日

◆大関勝久

論文 BDCプロジェクトレポート「第1回：2015年度の活動報告と課題」／NFCニューズレター第126号

論文 「画像・映像そして文化のアーカイビング」—フィルム保存の継続とデジタル保存への対応—／『日本写真学会誌』79巻4号（日本写真学会）、平成28年12月

論文 「デジタル化された映像資料の長期保存」／『全科協ニュース』47巻1号（全国科学博物館協議会）、平成29年1月1日

発表 映画データの長期保存を目的としたデジタルアーカイブシステムの試作／人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2016」（会場：国文学研究資料館、平成28年12月10日）

発表 Long live OZU Color：Toward a more reliable preservation of color by utilizing Black-and-White separation film／第72回FIAFボローニャ会議（会場：ボローニャ、平成28年6月26日）

◆岡島尚志

論文 白黒映画の“人工着色”（上）1980年代後半のアメリカカラライゼーションの始まり／NFCニューズレター第127号

論文 白黒映画の“人工着色”（下）2010年代半ば—新たなカラライゼーション／NFCニューズレター第128号

◆岡田秀則

論文 「映画の《精霊》を追って 中馬聰の写真をめぐる断想」／NFCニューズレター第126号

論文 羽田澄子+佐藤斗久枝（彼方舎）対談 「感じた人は行う責任がある」[聞き手・構成]／NFCニューズレター第128号

論文 「ハンス・ヒルマン、映画を一枚の紙に収めた人」／NFCニューズレター第130号

著作 『映画という《物体X》 フィルム・アーカイブの眼で見た映画』／立東舎、平成28年9月23日

論文 「前衛を分かち合う場所 アンソロジー・フィルム・アーカイヴス」（西村智弘・金子遊（編）『アメリカン・アヴァンギャルド・ムーヴィー』）／森話社、平成28年11月28日

論文 「《つかの間の猶予》をめぐって—小林正樹の未映画化脚本を読む」(小笠原清・梶山弘子(編)『映画監督 小林正樹』)/岩波書店、平成28年12月23日

論文 書評『ジョージ・キューカー、映画を語る』/『産経新聞』、平成28年7月31日

論文 インタビュー「商業性の中で芸術を追求する——『戦後ドイツの映画ポスター』展」/ウェブサイト「SYNODOS」、平成29年1月12日

論文 アートダイアリー 030「戦後ドイツの映画ポスター」/「文化庁広報誌 ぶんかる」(文化庁)(Web)、平成29年1月19日

論文 講演採録：《ノンフィルム》もう一つの映画のアーカイブ/神戸映画資料館ウェブサイト、平成29年2月8日

論文 「大藤信郎コレクション—目録とデジタル化」/『東京国立美術館研究紀要』21号

展覧会カタログ 作品解説/「戦後ドイツの映画ポスター」展

展覧会カタログ 翻訳「ハンス・ヒルマンとの対話」/「戦後ドイツの映画ポスター」展

展覧会カタログ 翻訳「ヘルムート・ブラーデとの対話」/「戦後ドイツの映画ポスター」展

発表 「《労働》の発見—映画集団「青の会」とスポンサー映画の超克」/国際日本文化研究センター共同研究 「戦後日本文化再考」(会場：国際日本文化研究センター、平成28年10月2日)

◆岡本直佐

論文 「Code4Lib JAPANレポートとフィルムセンターBDCプロジェクトのご紹介」/ACADEMIC RESOURCE GUIDE (ARG) メールマガジン、平成28年10月11日

発表 映画データの長期保存を目的としたデジタルアーカイブシステムの試作/人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2016」(会場：国文学研究資料館、平成28年12月10日)

発表 「映画におけるデジタル保存の課題について」/LTUG Japan 2016 (会場：日本オラクル(株)、平成28年11月9日)

発表 「BDCプロジェクト『映画におけるデジタル保存・活用に関する調査研究事業』と一部研究のご紹介」/code4lib Japan 2016 (会場：大阪産業労働資料館、平成28年9月11日)

◆神田麻美

論文 「連載 フィルムアーカイブの諸問題 第95回 映写に伴う所蔵映画プリントの評価基準について」/NFCニューズレター第129号

◆佐々木淳

論文 「押井守監督インタビュー」[聞き手・構成]/NFCニューズレター第130号

◆佐崎順昭

論文 「羽田澄子+佐藤斗久枝(彼方舎)対談「感じた人は行う責任がある」」[聞き手・構成]/NFCニューズレター第128号

論文 羽田澄子 作品一覧/NFCニューズレター第128号

論文 BDCプロジェクトレポート第4回：日本の映画界におけるデジタルデータの保存の現状/NFCニューズレター第129号

論文 「大藤信郎コレクション—目録とデジタル化」/『東京国立美術館研究紀要』21号

◆篠儀直子

論文 「山村倫氏（『ヴィクトリア』プロダクション・デザイナー）インタビュー 「リンがこの映画に来たのは偶然じゃない」と言われました。」/NFCニューズレター第127号

◆大傍正規

論文 「連載 フィルムアーカイブの諸問題 第94回 第72回FIAFポローニャ会議 報告 映画体験の未来——デジタル・シミュレーションと映画館の再生」/NFCニューズレター第129号

発表 デジタル時代の映画保存/千葉県史料保存活動連絡協議会講演(会場：千葉県文書館6階多目的ホール、平成28年5月25日)

発表 『明治四十五年四月四日 藤田男爵 葬式の實況』(1912年)の復元—固着した可燃性フィルムのスキャニングと葬儀記録映画の歴史性/2016年度日本写真学会年次大会(会場：東京工業大学、平成28年6月9日)

発表 「二色式カラー映画『千人針』(1937年)の復元」/日本写真学会年次大会(会場：東京工業大学すずかけ台、平成28年6月9日)

発表 「Long live OZU Color: Toward a more reliable preservation of color by utilizing Black-and-White separation film」/第72回FIAFポローニャ会議(会場：ポローニャ、平成28年6月26日)

発表 映画フィルムの適切な保存と利活用：カタロギング・著作権・デジタル化/平成28年度 沖縄県文化振興会文化活性化・創造発信支援事業「デジタルアーカイブ・セミナー」(会場：那覇市てんぶす館、平成28年9月29日)

◆榎木章(執筆・発表者名=とちぎあきら、Akira Tochigi)

発表 記録映画の保存と活用を考える Vol.4 /ゆふいん文化・記録映画祭(会場：湯布院公民館(大分県・由布市)、平成28年6月27日)

発表 えっ？実験映画はアートじゃなかったの？/連続講座「映画以内、映画以後、映画境界」(会場：阿佐ヶ谷美術専門学校(東京都・杉並区)、平成28年9月17日)

発表 台湾で見つかった戦前日本アニメーション映画について/ワークショップ「植民地期台湾における日本映画フィルムの研究」(会場：日本大学文理学部(東京都・世田谷区)、平成28年9月23日)

発表 東京国立近代美術館フィルムセンターにおける「オルタナティブ映像」保存への取り組みと課題/ワークショップ「日米のオルタナティブ映像アーカイブの成り立ちと方向性」(会場：日本大学芸術学部(東京都・中野区)、平成28年11月26日)

発表 「アニメNEXT100プロジェクト」日本アニメーション映画クラシックスについて/日本動画協会(会場：東京ビッグサイト(東京都・江東区)、平成29年3月26日)

◆富田美香

論文 「木下忠司氏インタビュー 合奏を初めに聴いたのは映画館。僕はそれから音楽家になりたいと思った。」[聞き手・構成]/NFCニューズレター第126号

論文 「木下忠司 映画音楽担当作品一覧」/NFCニューズレター第126号

論文 「羽田澄子+佐藤斗久枝（彼方舎）対談 「感じた人は行う責任がある」」[聞き手・構成]／NFCニューズレター第128号

論文 「押井守監督インタビュー」[聞き手]／NFCニューズレター第130号

論文 アートダイアリー 021「生誕100年 木下忠司の映画音楽」／「文化庁広報誌 ふんかる」(文化庁)(Web)、平成28年4月4日

論文 「桃太郎 海の神兵」／ブルーレイ「桃太郎 海の神兵」解説書、平成28年8月3日

論文 「マキノと東亜キネマー光と影の七年一」／『戦前期映画ファン雑誌集成 第1期 第28巻』(ゆまに書房)、平成28年9月23日

発表 「記憶の場：昭和の大礼と映画都市・京都」／京都大学人文研「近代天皇制と社会」研究会(会場：同志社大学寒梅館6A会議室、平成28年4月2日)

◆中西智範

論文 BDCプロジェクトレポート第5回：映画の長期保存と活用を目的としたシステムの可能性とコミュニティの重要性／NFCニューズレター第130号

論文 「大藤信郎コレクション—目録とデジタル化」／『東京国立美術館研究紀要』21号

発表 「映画データの長期保存を目的としたデジタルアーカイブシステムの試作」／人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2016」(会場：国文学研究資料館、平成28年12月10日)

発表 「映画におけるデジタル保存の課題について」／LTUG Japan 2016 (会場：日本オラクル(株)、平成28年11月9日)

◆濱口幸一

論文 「ナショナル・フィルモグラフィーの実現へ向けて——AFIの事例紹介」／NFCニューズレター第129号

◆松山ひとみ

論文 連載フィルムアーカイブの諸問題 第93回デジタルジレンマの行方／NFCニューズレター第127号

論文 BDCプロジェクトレポート第3回：映画のデジタル保存と活用を支える法的基盤／NFCニューズレター第128号

発表 「Digital Shift of the Film Archives：Current State and Challenges」／国際研究会・ワークショップ アート・アーカイブの諸相(会場：慶應義塾大学三田キャンパス、平成28年6月20日)

発表 「日本アニメーション映画クラシックス」／長野県信濃美術館 門前映画祭(会場：新千歳空港、平成28年11月9日)

発表 「再発見のスズメー日本アニメーション映画クラシックス」／長野県信濃美術館 門前映画祭(会場：長野松竹相生座ロキシー2、平成29年2月5日)

発表 「マージナルなアーカイヴィングの可能性 with 日本アニメーション映画クラシックス」／恵比寿映画祭(会場：東京都写真美術館、平成29年2月18日)

◆三浦和己

論文 BDCプロジェクトレポート第2回：デジタルによる映画保存と利活用に関する技術的な課題／NFCニューズレター第127号

論文 羽田澄子監督作品のフィルム化とDCP化について／NFCニューズレター第128号

論文 ボーンデジタル映像の保存に関する諸問題／『日本写真学会誌』79巻1号(日本写真学会)、平成28年5月

発表 「二色式カラー映画『千人針』(1937年)の復元」／日本写真学会年次大会(会場：東京工業大学すずかけ台、平成28年6月9日)

発表 「Long live OZU Color : Toward a more reliable preservation of color by utilizing Black-and-White separation film」／第72回FIAFポローニャ会議(会場：ポローニャ、平成28年6月26日)